

尾鷲市漁業体験教室（定置網）の流れ

・3泊4日の例

1日目 オリエンテーション

オリエンテーション

市役所・漁協等にて、体験教室の説明や尾鷲の漁業の紹介、研修受け入れ先の方からの説明が行われます。

その後、地区に移動し、陸から定置網を見学、説明を受け、1日目が終了となります。



2日目～ 漁業体験

実際に定置網漁業を体験します。

① 集合

5：00頃、船に集合します。乗組員達が次々に集まってきます。



② 出航～漁場到着

暗いうちに出航し、夜明け前に漁場に到着します。到着後はすぐに潮の流れや、透明度などの海況をチェックします。この時点で潮流が早すぎて、網があげられない場合は、一度港に戻って海況の回復を待ちます。潮が安定している場合は網をあげる準備に入ります。



③ 網起こし

ロープを巻き上げる機械を用いて網を絞り込みます。最後の絞り込みは乗組員の手で網をあげていきます。



④ 漁獲

網が絞りこまれると、船に設置された巨大なタモや普通のタモで漁獲作業を行います。このときに漁獲された魚類は種類によって、船の生簀やカゴなどに分けられていきます。



⑤ 水揚げ

漁獲後は港に戻り市場に水揚げされます。水揚げ時に魚種、大きさにより選別を行います。



⑥ その他の作業

基本的に作業はありませんが、網の状況により浄化作業や交換、補修を行う場合があります。



最終日 意見交換会

朝持ちの漁業体験後、大敷事務所・市役所等にて感想を伺ったり、意見交換を行っていただきます。

そのときに事前に配布したアンケートを提出してください。

体験後、引き続きの体験の希望がございましたら各種メニューがございますので気軽に担当までご相談ください。

